

**USER'S
MANUAL**

WIRELESS LAN ADAPTER

GW-NS11S

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

WIRELESS LAN ADAPTER

GW-NS11S

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



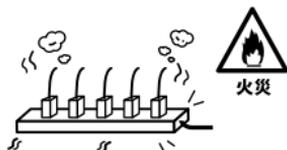
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

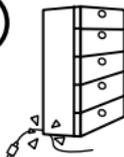
製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、
電源コードをコンセントから外して
弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解(アンテナ部分を含む)
- ・適合証明ラベルの剥離

- 1.本製品で使用する1～13チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。本製品は、工場出荷設定で移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と干渉しない14チャンネルに設定されています。

使用周波数帯域・・・・・・・・・・2.4GHz

変調方式・・・・・・・・・・DS-SS方式

想定干渉距離・・・・・・・・・・40m以下

周波数変更の可否・・・・・・・・2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能

- 2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 アダプタのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順について説明します。

第3章～第6章 ドライバインストール

本製品を使用するためのドライバインストール手順を説明します。
ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読みください。



第3章

Windows98への
ドライバインストール

第4章

WindowsNT4.0への
ドライバインストール

第5章

Windows Meへの
ドライバインストール

第6章

Windows 2000への
ドライバインストール

第7章 アダプタユーティリティのインストールと設定

アダプタユーティリティのインストールと設定について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

付録C 設置環境への注意

設置環境での注意事項を説明します。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
ご使用前にお読み下さい	4
第1章 はじめに	
1.概要	9
2.特長	10
3.対応機種および対応ネットワーク	10
4.梱包内容の確認	11
5.各部の名称	11
6.付属ドライバ/ユーティリティ・ディスクの内容	13
第2章 アダプタのインストール	
1.アダプタ・インストール	15
2.アダプタの取り外し	16
3.コンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しについて	16
第3章 Windows 98へのドライバインストール	
1.ドライバのインストール	19
2.インストールの確認	22
3.ドライバの削除方法	25
第4章 Windows NT 4.0へのドライバインストール	
1.空きリソースの確認	27
2.ドライバのインストール	30
3.ドライバの削除	40
第5章 Windows Meへのドライバインストール	
1.ドライバのインストール	43
2.インストールの確認	47
3.アダプタの取り外し	50
4.ドライバの削除方法	52

第6章	Windows 2000へのドライバインストール	
	1.ドライバのインストール	55
	2.インストールの確認	59
	3.アダプタの取り外し	62
	4.ドライバの削除方法	64
第7章	アダプタユーティリティのインストールと設定	
	1.アダプタユーティリティのインストール	69
	2.GeoWave Wireless Lan Utilityを使用する	73
付録A	トラブルシューティング	85
付録B	仕様	87
付録C	設置環への注意	89

はじめに

1 概要

GW-NS11Sは、PCMCIA TypellスロットをもつIBM PC互換機上で使用可能なWireless LANアダプタです。本製品を使用することでケーブルの配線、工事等を行うことなくネットワークの構築が可能になります。IEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。アクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードや端末同士で通信出来るアドホックモードをサポートしローミング機能によりサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させることなく使用可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

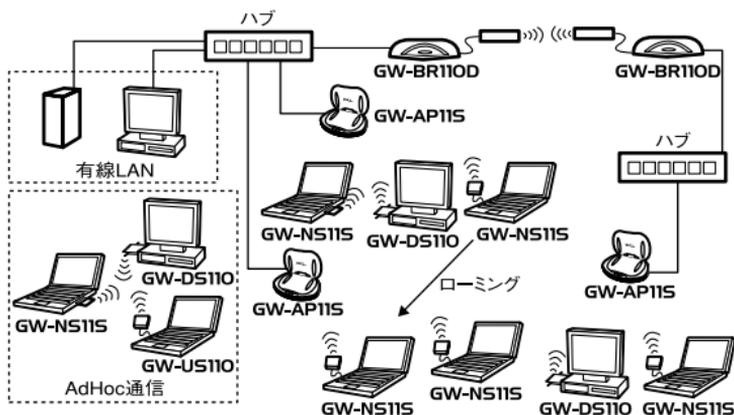


図1-1 ワイヤレスLAN構築図

PCMCIA Typell
IEEE802.11/802.11b 準拠
ARIB STD-33A/STD-T66準拠
ノイズに強いDS-SS方式
2.4GHz周波数帯を使用
14チャンネルサポート
11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
ESSIDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90mまでの通信が可能
(屋内使用時、見通し距離)
高感度ダイバシティアンテナ採用
接続状況が簡単に確認出来る1つのLEDを装備
異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能
に対応
セットアップユーティリティ付属
低消費電力

3 対応機種および対応ネットワーク

GW-NS11Sの対応機種および対応OSは以下のようになっています。

< 対応機種 >

IBM PC互換機(DOS/V)

< 対応OS >

Windows95/98/98SE/ME

WindowsNT4.0

Windows2000

4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

GW-NS11S Wireless LANアダプタ
ドライバ/ユーティリティ・CD-ROM 1枚
このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

5 各部の名称

GW-NS11Sにはコンピュータに接続するための68ピンコネクタとデータを受信するためのアンテナ部があります。



図1-2 GW-NS11S

本製品本体には、1つのLEDインディケータを備えています。

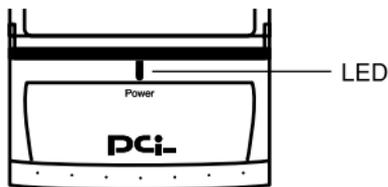


図1-3 GW-NS11S LED

< Link >

ワイヤレスネットワークが確立された場合に、PowerLEDが点灯します。確立されていない場合は、PowerLEDは点滅します。

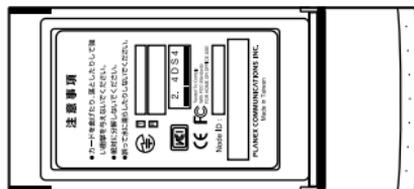


図1-4 カード裏面

< 注意事項 >

本製品使用時の注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。

< シリアルナンバー >

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

< MACアドレス >

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。

付属のドライバ/ユーティリティ・CD-ROMのディレクトリおよびファイル構成は次のようになっています。

Win2K

- NS11.sys
- netns2k.inf

Win9x_me

- NS11.sys
- netns9x

WinNT

- ns11.dll
- NS11.sys
- oemsetup.inf

アダプタのインストール

2

アダプタのインストール

本章ではコンピュータへのアダプタのインストール方法およびネットワーク・ケーブルの接続について説明します。アダプタのインストールは以下の手順で行います。

1 アダプタ・インストール

1. コンピュータの電源を切ってください。
2. GW-NS11Sのラベル面を上にしてコンピュータの空いているPCカードスロットに挿入してください。



図2-1 PCカードスロットへの挿入

⚠ 注意

通常はGW-NS11Sのラベル面を上にしてコンピュータに挿入しますが、コンピュータの機種によってはラベル面が下になる場合もあります。コンピュータのマニュアルをご確認ください。

2 アダプタの取り外し

GW-NS11Sをコンピュータから取り外す際は以下の手順で行ってください。なお、Windows95/98/98SE/ME/2000環境ではコンピュータの動作中にアダプタの取り付け取り外しを行うことが可能です。コンピュータ動作中の取り外しについては次の「2-3 コンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しについて」の方法で行ってください。

アダプタの取り外し

1. コンピュータの電源を切ってください。
2. コンピュータのマニュアルを参照し、コンピュータからPCカードを取り外してください。

3 コンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しについて

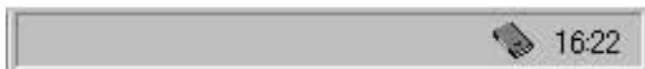
GW-NS11SはWindows95/98/98SE/ME/2000環境でのみコンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しに対応しています。Windows95/98/98SE/ME/2000環境でコンピュータの動作中にアダプタの取り付け・取り外しを行う場合は以下の手順で行ってください。

注意

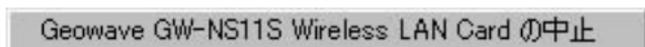
Windows2000等、Windows95/98/98SE/ME以外のOSではコンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しには対応していません。上記のOSでアダプタの取り付け・取り外しを行う場合は必ずコンピュータの電源を切ってください。

アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じてください。
2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをクリックしてください。



3. 「GW-NS11S Wireless LAN PC Card の中止」というメッセージが表示されます。これをクリックしてください。



4. 「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



5. GW-NS11SをコンピュータのPCカードスロットから取り外してください。

2

アダプタのインストール

注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

アダプタの取り付け

1. コンピュータの空いているPCカードスロットにGW-NS11Sを挿入してください。
2. すでにドライバがインストールされていれば画面右下にPCカードアイコンが表示されます。



Windows 98への ドライバインストールレーション

こここでは、GW-NS11SをWindows98で使用する場合の設定方法について説明します。

1 ドライバのインストール

1. コンピュータのPCカードスロットにGW-NS11Sをセットし、コンピュータの電源を入れてください。
2. Windows98起動時にGW-NS11Sが自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



3. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。



4. 検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[検索場所の指定] をチェックし、[D:¥Win9x_me] と入力してください。

CD-ROMドライブがDドライブの場合



5. GW-NS11S 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブ にセットし、[次へ] ボタンをクリックしてください。

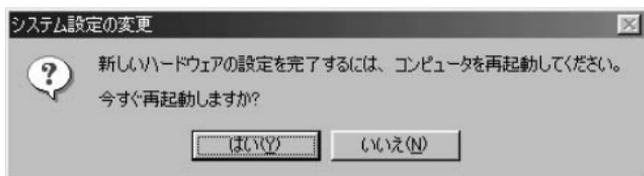
6. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



7. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に Windows98 CD-ROMを要求するメッセージが表示された場合は、Windows98のCD-ROMをセットして[OK] ボタンをクリックしてください。
8. ファイルのコピーが終了後、「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」というメッセージが表示されます。[完了] ボタンをクリックしてください。



9. コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、[はい] ボタンをクリックしてください。



2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

1. [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、そこから [コントロールパネル] をダブルクリックしてください。

2. [システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。3-3の手順でドライバを一旦削除してから3-1の手順で再度インストールしてください。



3. 「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」を選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



3 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の [+] マークをクリックすると「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されるのでこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。



表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の [+] マークをクリックしたときに「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示される場合はこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。

1. 削除の確認のウィンドウが表示されるので[はい]ボタンをクリックしてください。



2. コンピュータを再起動してください。

WindowsNT4.0への ドライバインストールレーション

こ こでは、GW-NS11SをWindowsNT4.0で使用する場合の設定方法について説明します。

1 空きリソースの確認

WindowsNT4.0はプラグ&プレイに対応していません。GW-NS11Sが使用するリソースは手動で設定する必要があります。このためGW-NS11Sを設定する前にあらかじめ空いているリソースの確認をしておかなければなりません。以下の手順でリソースを確認してください。

1. WindowsNT4.0を起動してください。「スタート」メニュー「プログラム」「管理ツール」「WindowsNT診断プログラム」を選択してください。

2. 診断プログラムが起動したら[リソース]タブをクリックしてください。



3. [IRQ] ボタンをクリックし、IRQの使用状況を確認してください。GW-NS11Sで設定可能なIRQは 3、4、5、9、10、11、12、14、15です。これらのうちで使用可能なIRQをメモしておいてください。初期設定値は9です。



4. [I/Oポート] ボタンをクリックし、I/Oポートの使用状況を確認してください。GW-NS11Sで設定可能なI/Oポートは 100、140、180、1C0、200、240、280、2C0、300、340、380、3C0、400、440、480、4C0、500、540、580、5C0、600です。これらのうちで使用可能なI/Oポートをメモしておいてください。初期設定値は 240 です。

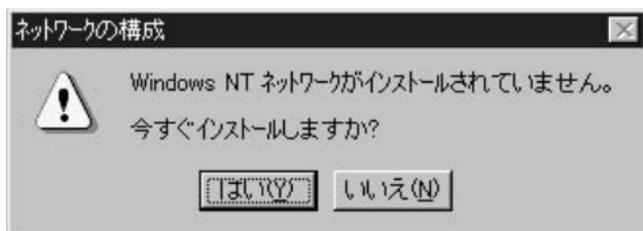


2 ドライバのインストール

WindowsNT4.0では、はじめてネットワークを設定する場合とすでにネットワークの設定を行ったことがある場合とでドライバのインストール方法が異なります。

はじめてネットワークの設定を行う場合

1. GW-NS11SをコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れWindowsNT4.0を起動してください。
2. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
3. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
4. 「WindowsNTネットワークがインストールされていません。」メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックしてください。



5. 「ネットワークセットアップ」ウィザードが表示されます。「ネットワークに接続」を選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。



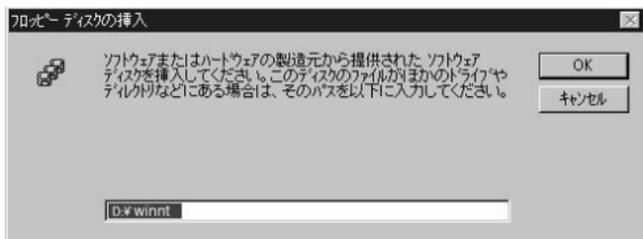
6. アダプタの検索の画面が表示されます。ここでは検索は行わないで[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。



7. アダプタの選択の画面が表示されます。[ディスク使用] ボタンをクリックしてください。



8. GW-NS11S付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットしてください。ドライバのパスに D:¥winnt (CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。



9. 「OEMオプションの選択」画面が表示されます。「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



10. 「ネットワークアダプタ」の「GeoWave GW-NS11S Wireless LAN Card」をチェックして[次へ]ボタンをクリックしてください。



11. 必要なネットワークプロトコルをチェックして[次へ]ボタンをクリックしてください。

注意

以降の説明はTCP/IPプロトコルのみを選択した場合の説明です。必要なプロトコルについてはネットワーク管理者にご相談ください。



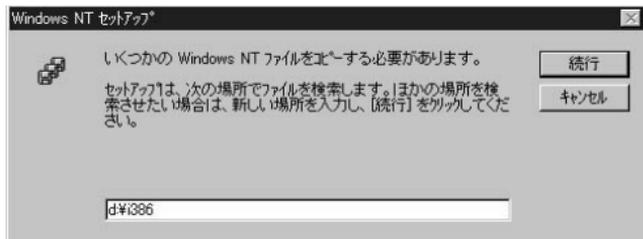
12. ネットワークサービスの追加画面が表示されます。追加が必要であれば[一覧から選択]ボタンをクリックして追加を行ってください。



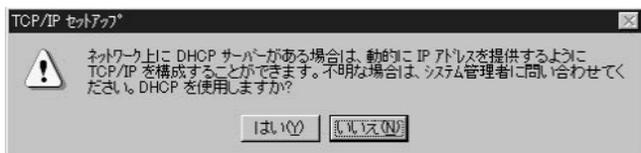
13. [次へ] ボタンをクリックしてください。



14. ファイルの検索場所を入力する画面が表示されます。Windows NTのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、d:\i386(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力してください。[続行] ボタンをクリックしてください。



- 15.** DHCPサーバを使用するか確認する画面が表示されます。ネットワーク管理者に確認しDHCPサーバを使用するのであれば[はい]を、しないのであれば[いいえ]をクリックしてください。



- 16.** DHCPサーバを使用しないを選択した場合、IPアドレスの入力画面が表示されます。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等必要な値を入力してください。ネットワーク管理者に相談し、必要であればDNSやWINSアドレスの設定を行ってください。[OK]ボタンをクリックしてください。



17. バインドの設定画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



18. 「ネットワークを起動する準備が整いました。」のメッセージが表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



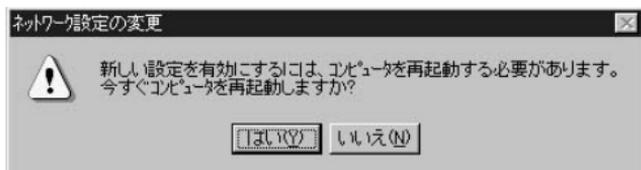
19. ワークグループ名を入力する画面が表示されます。ワークグループ名またはドメイン名を入力して[次へ]ボタンをクリックしてください。



20. [完了]ボタンをクリックしてください。



- 21.** CD-ROMを取り出してから、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



- 22.** 再起動後、「4-1 空きリソースの確認」を参照してもう一度「WindowsNT診断プログラム」を実行し、アダプタに正常にリソースが割り当てられているかを確認してください。GW-NS11Sはリソース画面上ではGW-NS11という名前が表示されます。

すでにネットワークの設定を行ったことがある場合

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら、[アダプタ] タブをクリックしてください。
4. [追加] ボタンをクリックしてください。
5. GW-NS11S付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、ドライバのパスに a:¥ (フロッピードライブが Aドライブの場合) と入力して[OK] ボタンをクリックしてください。
6. 画面の指示に従ってドライバのインストールを行ってください。

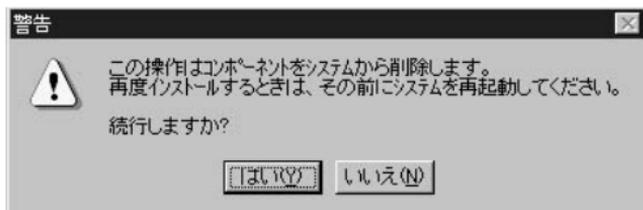
3 ドライバの削除

GW-NS11Sのドライバを削除する場合は以下の手順で実行してください。

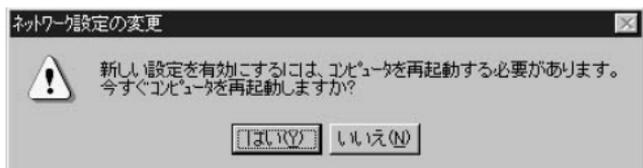
1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら、[アダプタ]タブをクリックしてください。



4. ネットワークアダプタのリストから「GeoWave / GW-NS11S Wireless LAN Card」を選択して[削除]ボタンをクリックしてください。
5. 削除の警告画面が表示されるので[はい]ボタンをクリックして続行してください。



6. [閉じる]ボタンをクリックしてください。
7. [はい]を選択してコンピュータを再起動してください。



Windows Meへの ドライバインストールレーション

本 こでは、本製品をWindows Meで使用する場合の設定方法について説明します。

1 ドライバのインストール

1. 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. Windows Meの起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが開始します。「ドライバの場所を指定する」にチェックマークを入れ、「次へ」をクリックします。



3. ドライバの検索ウィンドウが表示されます。「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックマークを入れ、「リムーバブルメディア」にチェックマークが入っている場合は「検索場所の指定」をチェックしてください。「D:\win9x_me」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力し付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットした後、[次へ]ボタンをクリックします。



4. ドライバファイルの検索が開始され、ドライバファイルが検出されます。ドライバのある場所が D:¥WIN9X_ME¥NETNS9X.INF になっていることを確認してから、[次へ] ボタンをクリックします。



5. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に「ファイルが見つかりません」と表示され、下記のファイルを要求された場合は「ファイルのコピー元」に「D:¥win9x_me」と指定してください。

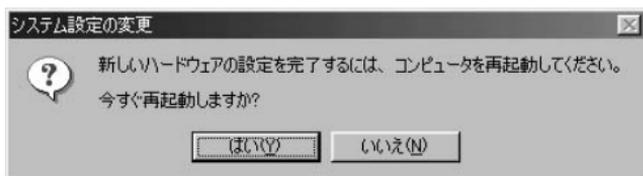
NETNS9X.INF

NS11.SYS

- 5
- Windows Meへのドライバインストール
6. インストールが終了するとウィザードの終了メッセージが表示されますので[完了]をクリックします。



7. 再起動の要求メッセージがでますので、「はい」をクリックして再起動します。



8. 再起動後、5-2の手順でデバイスマネージャーから本製品が正常に認識されている事を確認します。

2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. [マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。
2. [システム]を開き、[システムのプロパティ]から[デバイスマネージャ]のタブを開きます。
3. [ネットワークアダプタ]の左の[+]をクリックして、「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから5-1の手順で再度インストールします。



4. 「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」を選択して[プロパティ]をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



5. [リソース]タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。

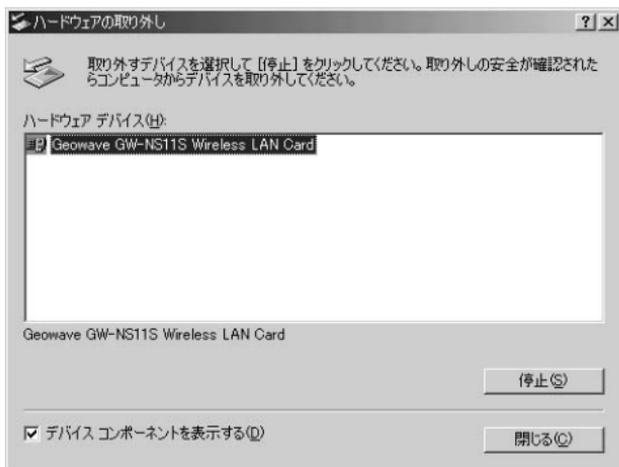


3 アダプタの取り出し

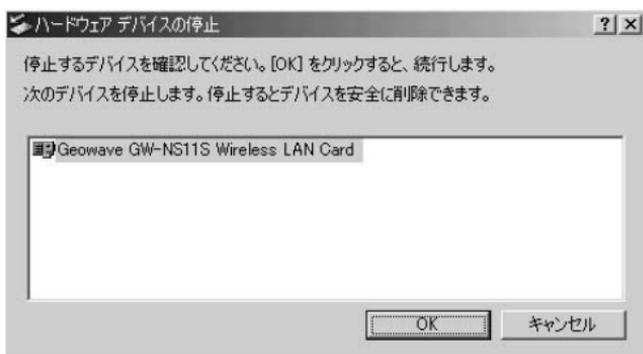
1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。ネットワークにアクセスしているかどうかはアンテナ上のLink LEDで確認します。
2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。



3. 「ハードウェアの取り外し」が開きます。「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。



4. ハードウェアデバイスの停止ウィンドウが表示され、デバイスの停止をするか聞いてきますので[OK]ボタンをクリックします。



5. 「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



6. 本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。

注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

4 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックすると「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されるのでこれを選択し[削除] ボタンをクリックしてください。



2. 削除の確認のウィンドウが表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。



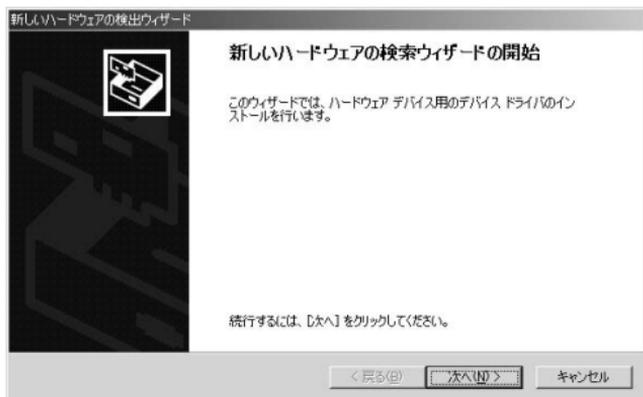
3. 再起動を要求するメッセージが表示されますが、[いいえ] をクリックします。コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

Windows 2000への ドライバインストールレーション

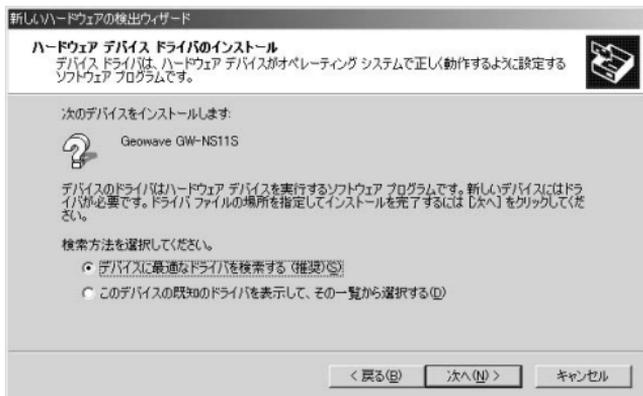
ここでは、本製品をWindows 2000で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

1 ドライバのインストール

1. 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. Windows 2000起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されます。[次へ]をクリックします。



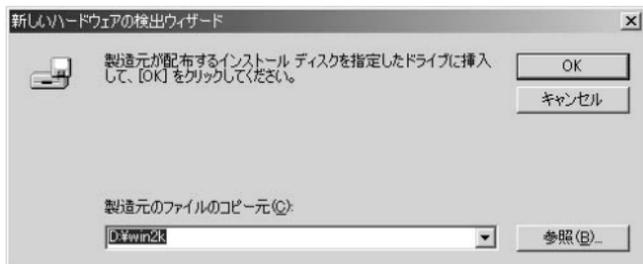
3. [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] をクリックします。



4. 検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[場所を指定] のみをチェックし、他の項目からはチェックを外します。[次へ] ボタンをクリックします。



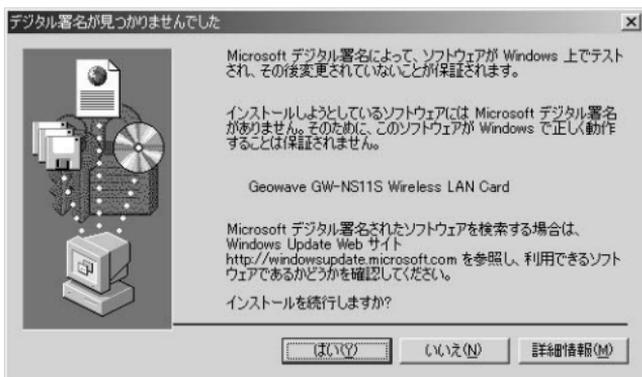
5. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥win2k」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[OK]ボタンをクリックします。



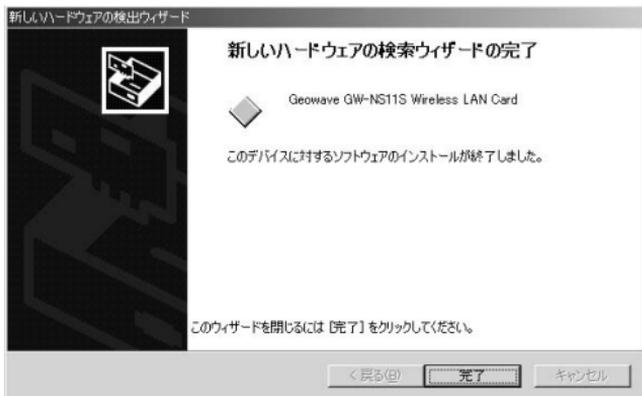
6. ドライバファイルの検索が終了すると下のウィンドウが開きます。検索されたドライバが、D:¥win2k¥netns2k.inf であることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



7. 「デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが開きます。[はい] をクリックします。ドライバのインストールが始まります。



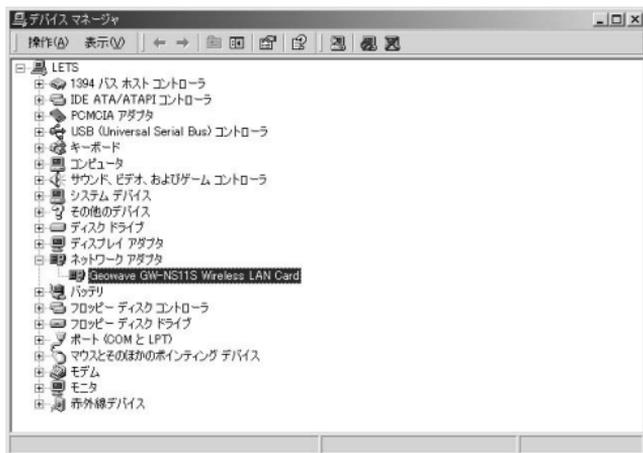
8. ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了] をクリックします。



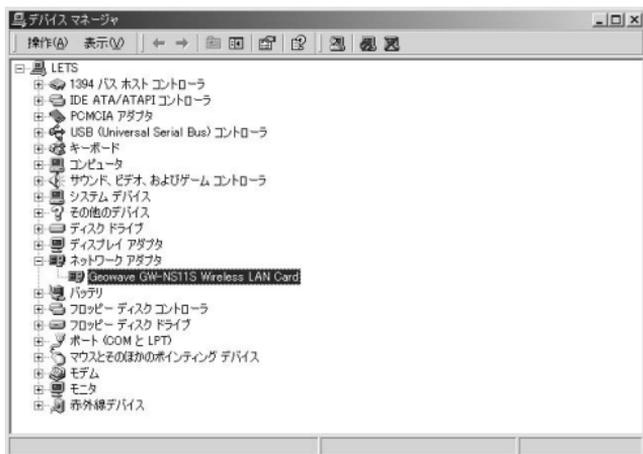
2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. [マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。
2. [システム]を開き、[ハードウェア]のタブを開きます。
3. [デバイスマネージャ]をクリックします。
4. [デバイスマネージャ]から[ネットワークアダプタ]の左の[+]をクリックして、「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから6-1の手順で再度インストールします。



4. 「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」を選択し、[操作] から [プロパティ] を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



5. [リソース]タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。

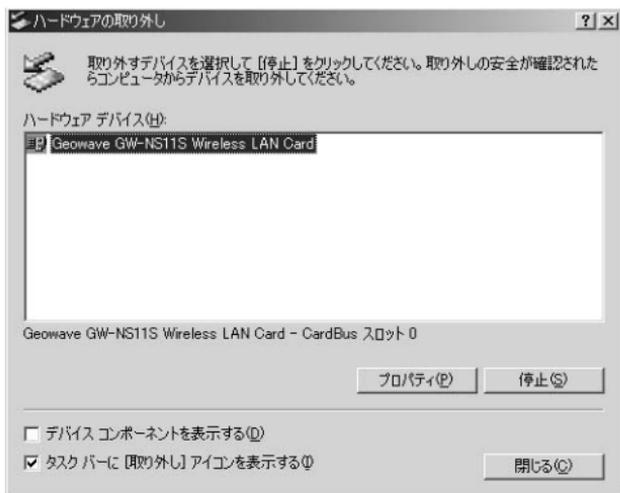


3 アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。ネットワークにアクセスしているかどうかはアンテナ上のLink LEDで確認します。
2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。



3. 「ハードウェアの取り外し」が開きます。「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」をクリックし、[停止]をクリックします。



4. 「ハードウェアデバイスの取り外し」が表示されます。[OK] をクリックしてください。



5. 「"Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card"は安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



6. 本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。

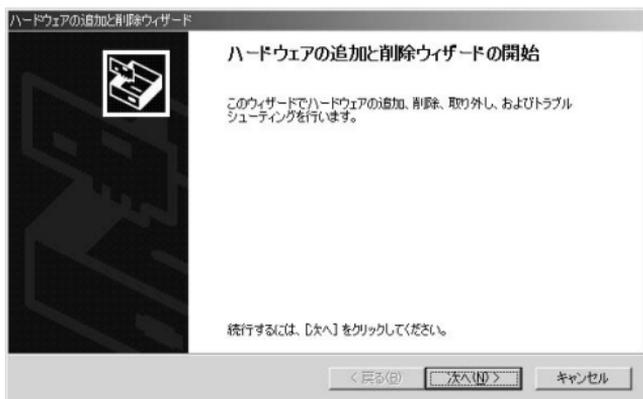
注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

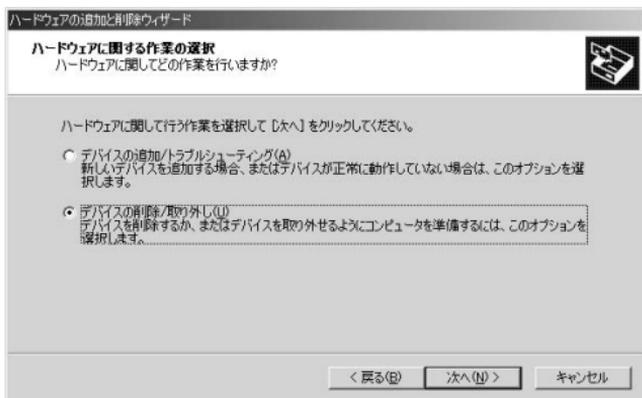
4 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
2. [システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックしてください。「ハードウェアウィザード」ボタンをクリックして下さい。
3. 「ハードウェアの追加と削除の開始」ウィンドウが開きますので、「次へ」ボタンをクリックします。



4. 「ハードウェアに関する作業の選択」ウィンドウが開きますので、「デバイスの削除/取り外し」にチェックを入れ「次へ」ボタンをクリックしてください。



5. 「削除作業の選択」ウィンドウが開きますので、「デバイスの削除」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックして下さい。



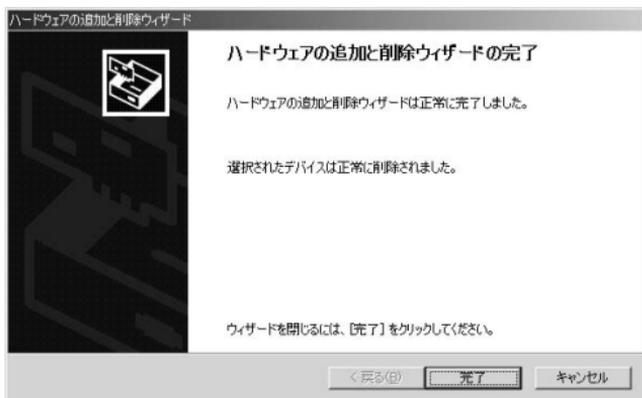
6. 「削除するデバイスを選択してください」と表示されますので、「Geowave GW-NS11S Wireless LAN Card」を選択して、[次へ]ボタンをクリックして下さい。



7. 「デバイスの削除」ウィンドウが開きますので、「はい、このデバイスを削除します」にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックして下さい。



8. 「選択されたデバイスは正常に削除されました」と表示されますので、[完了]ボタンをクリックして「ハードウェアの追加と削除ウィザード」を終了します。



9. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

アダプタユーティリティの インストールと設定

G W-NS11Sのドライバ・ディスクにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。

GW-NS11Sの現在の構成を表示します。

GW-NS11Sのワイヤレスネットワーク設定を行います。

GW-NS11Sの基本的機能の診断を行います。

1 アダプタユーティリティのインストール

1. 本製品に付属のドライバ/ユーティリティCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入してください。

2. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択してください。表示されるウィンドウに「D:\¥Setup.exe」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
3. インストーラが起動してインストールを開始するウィンドウが表示されます。
「次へ」ボタンをクリックしてください。



4. インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先の変更する場合は、「参照」ボタンをクリックしてください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



5. プログラムフォルダリストに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更される場合は、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



6. ワイヤレスカードの設定を行います。以下のウィンドウが表示されたら「はい」をクリックしてください。ここでワイヤレスカードの設定をおこなわない場合は「いいえ」をクリックしてください。インストールを終了します。



7. 「ワイヤレスネットワーク設定」ウィンドウが表示されます。使用されるネットワーク環境に合わせて設定を行ったあと「OK」ボタンをクリックしてください。

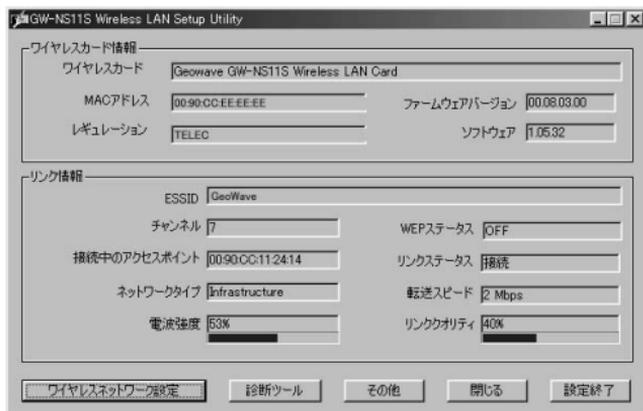


- 7
アダプタユーティリティのインストールと設定
8. 「InstallShield ウィザードの完了」ウィンドウが表示されたらすぐにコンピュータを再起動して設定を有効にする場合は「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」ラジオボタンをチェックしてください。後でコンピュータを再起動する場合は「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」ラジオボタンをチェックしてください。「完了」ボタンをクリックするとインストールは完了です。



GeoWave Wireless Lan Setup Utilityを使用する

タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして表示されるリストから「プログラム」「GeoWave NS11S」フォルダ内の「GeoWave NS11S Utility」アイコンをクリックしてユーティリティを起動します。以下のメインウィンドウが表示されます。



GW-NS11Sの現在の構成を表示します

ウィンドウ上半分のワイヤレスカード情報欄にはワイヤレスカードとソフトウェアの情報が表示されます。

<ワイヤレスカード>

使用中のワイヤレスLANアダプタの名称です。

<MACアドレス>

本製品に設定されているMACアドレスが表示されます。

<ファームウェアバージョン>

使用中のCardのファームウェアバージョンです。

<レギュレーション>

使用周波数のドメイン名です。本製品は、日本のレギュレーションに適合しているため「TELEC」と表示されます。

<ソフトウェアバージョン>

使用しているソフトウェアのバージョンが表示されます。

ウィンドウ下半分のリンク情報欄には動作中のワイヤレスカードの情報が表示されます。

<ESSID>

現在設定されているESS IDが表示されます。

<チャンネル>

現在使用中のチャンネル番号が表示されます

<WEPステータス>

暗号化の有効または無効が表示されます。

<接続中のアクセスポイント>

接続先のアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。

<リンクステータス>

リンク状態が表示されます。

< ネットワークタイプ >

動作中のネットワークタイプが表示されます。

< 転送スピード >

現在の転送スピードが表示されます。

< 電波強度 >

電波強度を表示します。

< リンククオリティ >

使用している電波の品質を表示します。

GW-NS11Sのワイヤレスネットワーク設定を行います

メインウィンドウから「ワイヤレスネットワーク設定」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



<ESS-ID>の設定

ESS-IDを指定することによりワイヤレスLANグループを作成する事が可能になります。ESS-IDを指定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来ません。

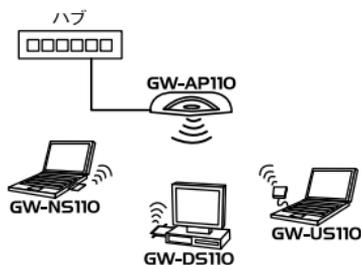
ESS-IDを設定する場合は「新規」ラジオボタンをチェックしてESS-IDを入力してください。設定しない場合は「設定しない」ラジオボタンをチェックします。

<ネットワークモード>の設定

ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイントを使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモードとIEEE802.11アドホックモードがあります。



アドホックモード



インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「アクセスポイントを使用する(インフラストラクチャ)」ラジオボタンをチェックしてください。
アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は、「コンピュータとコンピュータを接続する(アドホックモード)」ラジオボタンをチェックするか「IEEE802.11アドホック」ラジオボタンをチェックしてください。

それぞれのアドホックモードは以下の違いがあります。使用されるネットワーク環境に合わせて適切な設定を行ってください。

アドホックの違い

	コンピュータとコンピュータ	IEEE802.11
ESSID	設定必要無し	設定必要あり
チャンネル	設定必要有り	設定必要無し

<チャンネル>の設定

使用されるネットワーク環境に合わせてチャンネルを設定してください複数のチャンネルが混在する環境で使用される場合は必ず各チャンネルの間を3つ以上空けてください。

<パワーセーブモード>の設定

パワーセーブモードを有効に設定する場合は「設定する」ラジオボタンを設定しない場合は「設定しない」ラジオボタンをチェックしてください。

<送信スピードモード>の設定

送信速度を設定することが出来ます。オート/1/2/5.5/11Mbpsから選択可能です。ワイヤレスLANでは、転送速度が遅いほど転送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長い、または無線に適していない環境の場合は転送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。

<RTS しきい値>の設定

RTSしきい値は「隠れ端末」が原因で通信の転送効率が落ちてしまう場合に有効です。「有効」に設定すると端末からの転送されるパケットサイズがここで設定されたしきい値を超えた場合にRTS/CTSアルゴリズムを実行します。「隠れ端末」がない場合は「無効」に設定してください。

「無効にする」ラジオボタンをチェックするとRTSしきい値を設定しません。

「有効にする」ラジオボタンをチェックするとRTSしきい値を設定します。128～3000の間でスライダを設定してください。

<フラグしきい値>の設定

ここで設定された値を超えるすべてのパケットを設定されたサイズに分割して転送します。これによりグループ内の他のコンピュータが通信できる確率がより高くなります。大きいファイルサイズを頻繁に転送する場合は無効に設定して下さい。

「無効にする」ラジオボタンをチェックするとフラグしきい値を設定しません。

「有効にする」ラジオボタンをチェックするとフラグしきい値を設定します。256～2346の間でスライダを設定して下さい。

< WEP(Wired Equivalent Privacy) > の設定
WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。以下の手順でWEP機能を設定してください。

1. 「設定する」ラジオボタンをチェックしてください。「暗号化」ボタンがクリック可能になります。「暗号化」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



2. 暗号モードを設定します。WEPキーには64ビット長キーと128ビット長キーの二種類があります。使用される環境に合わせてリストボックスから「64bit」または「128bit」を選択してください。
3. キーを十六進数で0~9、A~F、a~fの間で入力します。64ビットの場合は4つまでキー文字列を作成可能です。
4. 64ビットで作成した場合は「デフォルトキー」リストボックスから使用するキー番号を選択します。
5. 「適用」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

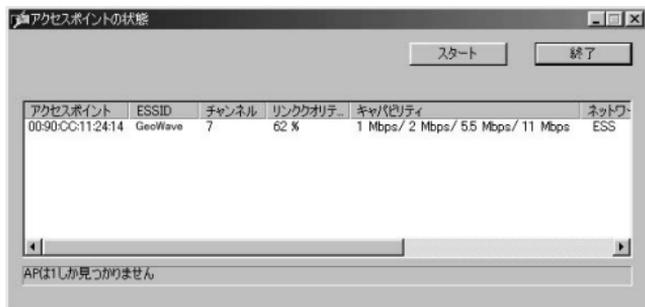
<ローミング>

ローミング機能の有効、無効を設定します。ローミング機能を有効に設定する場合は「オート」ラジオボタンをチェックしてください。アクセスポイントを自動的に認識できない場合または接続したいアクセスポイントを選択したい場合は「マニュアル」ラジオボタンをチェックしてください。

マニュアルでアクセスポイントを選択する場合

1. 「マニュアル」ラジオボタンをチェックしてください。

2. 「再検索」ボタンをチェックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



3. 使用したいアクセスポイントをダブルクリックしてください。確認のウィンドウが表示されたら、「OK」ボタンをクリックして「終了」ボタンをクリックしてください。

<工場出荷設定に戻す>

全ての設定を工場出荷設定に戻すには「工場出荷設定」ボタンをクリックしてください。各項目がデフォルトの設定値にかわります。

全ての設定が完了したら「OK」ボタンをクリックして設定を有効にしてください。確認のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

GW-NS11Sの基本機能の診断を行います

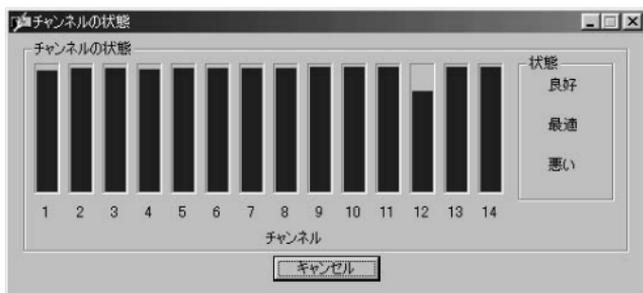
GW-NS11S Wireless Lan Utilityは、各チャンネルの電波状態をグラフで表示可能なサイトサーベイや使用可能なアクセスポイントの状態を参照するなどの機能を装備しています。メインウィンドウから「診断」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



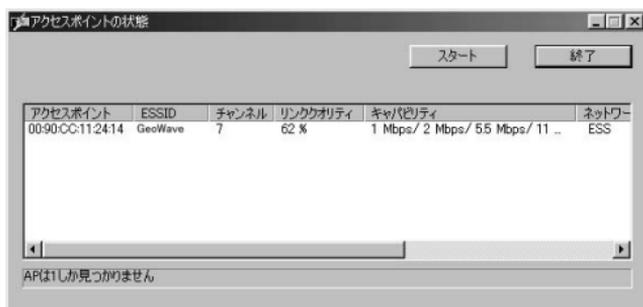
<チャンネルの状態> ボタン

各チャンネルの電波状態をグラフで表示することが可能です。バーの高さは、混信や干渉等のクオリティを表します。

最適
良好
悪い



<アクセスポイントの状態> ボタン
利用可能なアクセスポイントの状態を参照を行います。「アクセスポイントの状態」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。
検索を開始するには、「スタート」ボタンをクリックしてください。



トラブルシューティング

1 ここではアダプタのインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

Windows 95/98のデバイスマネージャでアダプタに「！」マークが表示される。

リソースの競合が考えられます。デバイスマネージャでGW-NS11Sのプロパティを開き、[リソース]タブをクリックしてください。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。

ドライバのインストール時に他にPCMCIAデバイス(SCSI、サウンドカード等)がインストールされていた場合は、いったんこれらのデバイスをはずした状態でドライバの再インストールを行ってください。

Windows 95/98のデバイスマネージャでPCMCIAソケットが表示されない。

PCMCIAソケットを有効にする必要があります。コントロールパネルの「PCカード」アイコンをダブルクリックしてください。「PCカード」ウィザードが起動します。画面の指示に従ってPCMCIAソケットを有効にしてください。

Windows 95/98のデバイスマネージャでPCMCIAソケットに「！」マークが表示される。

PCMCIAソケットのドライバが正常にインストールされていない可能性があります。デバイスマネージャでPCMCIAソケットの下のPCMCIAコントローラを選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。「デバイス削除の確認」ウィンドウが表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。削除が終了したら[閉じる]ボタンをクリックし、その後コンピュータを再起動してください。

再起動時にPCMCIAソケットが自動的に検出されます。画面の指示に従ってPCMCIAソケットのドライバをインストールしてください。

PCMCIAソケットが自動的に検出されなかった場合は、コントロールパネルのハードウェアで自動検出を行ってください。

仕様

< 準拠する規格 >

IEEE802.11/802.11b、ARIB STD-33A/STD-T66準拠、
PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2

< バス・タイプ >

PCMCIA Typell

< 転送速度 >

1/2/5.5/11Mbps

< 周波数帯 >

2.4 ~ 2.497GHz

< チャンネル数 >

14ch

< 通信距離 >

11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90m(屋内使用時、見通し距離)

環境により上記距離を満たせない場合があります。

< アンテナタイプ >

ダイバシティアンテナ

< 変調方式 >

CCK(11Mbps、5.5Mbps)

DQPSK(2Mbps)

DBPSK(1Mbps)

< LEDインディケータ >

Link

<消費電力>

+5V DC、300mA

<外形寸法>

115mm × 54mm × 6mm

<重量>

42.5g

<動作温度>

0 ~ 55

<動作湿度>

10 ~ 90%(結露しないこと)

<EMI>

FCC Part 15 Class B

設置環境への注意

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
石材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name.	WIRELESS LAN ADAPTER
型番 Product No.	GW-NS11S
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。

プラネックスコミュニケーションズ(株)

サポートセンター フリーダイヤル0120-415977

2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様の負担にてお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証書

● 弊社の保証規定を必ずご覧ください。 ●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1年間
製品名 Product name	WIRELESS LAN ADAPTER
型番 Product No.	GW-NS11S
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
TEL	— — 内線
FAX	— —
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って
いただいていない場合には、
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社